

授業科目名： 工業科教育法Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名 八 田 豊
科 目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）		
各科目に含めることが 必要な事項	・各教科の指導法		
授業の到達目標及びテーマ			
・日本及び各国の中等工業教育史を念頭に置いた上で我が国の工業教育の現状と課題を認識し、21世紀の工業教育の在り方を考える。 ・工業科に係る学習指導要領の意義・目標等を理解し、工業科の教育課程編成の在り方と授業実践上の留意点等を研究する。 ・工業教育の本質を理解し、工業科教員としての学力観・教育観の確立をめざす。			
授業の概要			
戦後の日本の復興の原動力となった団塊の世代と言われる高度技術者の大量退職、世界同時不況の勃発、中国を始めとする新興国の急速な発展、資源の枯渇等、日本は極めて先行き不透明な状況に立たされている。 しかしながら、工業技術創造立国の礎づくりにとって、優れた中堅技術者の育成は急務であり、そのために良き指導者の養成は不可欠である。 このことを踏まえて、本講座では、ものづくりに関連する技術教育の歴史や各審議会の答申・提言を踏まえて取り組まれている工業教育の将来像について考え、工業教育に携わる者に求められる資質（人間尊重を基盤とした豊かな人間性、教育への意欲・情熱・使命感、高い専門性と旺盛な研究心、広い識見と確かな実践力等）について示唆する。			
授業計画			
第1回：工業技術の変革と現状、及び工業高校の現状と課題 第2回：中等工業教育史（戦前日本の中等工業教育） 第3回：中等工業教育史（戦後の日本の中等工業教育） 第4回：世界の中等工業教育（ドイツ、フランス） 第5回：世界の中等工業教育（アメリカ、韓国、中国） 第6回：工業科教員の役割（生徒を見る視力・心力・行動力、教員の精進力・研修力） 第7回：工業教育と徒弟制度（職人の世界に工業教育を考える） 第8回：工業科に係る学習指導要領の目標と学習内容、学習指導の留意点 第9回：工業高校の教育課程の役割と編成と実施上の課題 第10回：年間授業計画の立案と指導方法 第11回：授業実践の実際（研究授業DVD視聴） 第12回：「課題研究」と「総合的な学習の時間」の違いと望ましい指導の在り方 第13回：工業科の実験・実習における安全指導法（企業必須「見える化」の5 S活動の活用） 第14回：教育評価の望ましい在り方 第15回：総括（望ましい工業科教員の在り方） 定期試験			
テキスト			
毎回、授業計画に示す関係配布資料を準備し講義を行う。			
参考書・参考資料等			
特に指定しない（必要に応じ適宜紹介する）。			
学生に対する評価			
・出席状況（授業中のミニレポートで出席確認） ・授業中の学びの姿勢 ・定期試験			